

	<h1 style="text-align: center;">進取の気概</h1> <p style="text-align: center;">(校長室だより)</p>	<p style="text-align: center;">有田市立箕島中学校</p> <p style="text-align: center;">自主 友愛 剛健</p>	<p style="text-align: center;">R4-5-30</p> <hr/> <p style="text-align: center;">No.12</p>
---	--	--	---

この前、3年生の国語の授業で「論語」を勉強していました。  
「論語」とは、孔子が述べたことをその弟子たちがまとめた書物のことです。孔子は昔の中国の思想家で、様々な問題を研究し、深く考察した偉い人で、3000人も弟子がいたと言われています。



ある弟子が孔子に尋ねました。「先生、人として生きていく中で一番大切なことは何でしょうか？人間が生きていく上で、これだけは守らなければならないということ、一言で表すとどのような言葉になりますか？」

孔子はこう答えました。「一言で言えば、それは『恕(思いやり)』です。」

さらに、孔子は言いました「己所不欲、勿施於人(己の欲せざるところ、人に施すことなかれ)、自分のしてほしくないことは、人にはしてはいけないということだ。」

孔子が活躍した時代は今から2500年ほど前ですが、この言葉は現代に生きる私たちにとっても、大切にしなければならない言葉です。

自分がしてほしくないこと、例えば、殴られたりするような体を傷つけられること、あるいはSNSも含めて無視をされたり悪口を言われたりするような精神的な苦痛を受けることなどです。自分がされたくないのですから、他の人にしてはいけないのです。

この孔子の言葉は、分かりきったこと、当然のことのように思えます。しかし、自分がしてほしくないことを全て人にしないということを実現させるのはとても難しいことです。また、自分がしてほしくないことは一人ひとり微妙に違うかもしれません。だから、2500年以上たった今でも大切な言葉として言い伝えられているのでしょう。

「恕」とは思いやり、つまり相手の身になって思い、語り、行動すること。「己の欲せざるところ、人に施すことなかれ」、心に留めて学校生活を送ってほしいと思います。みなさん一人ひとりがこれを実践していれば、いじめのない、楽しく充実した学校生活を送ることができるはずです。

